



Quality and reliability is our tradition

KYORITSU

高圧絶縁抵抗計 KEW 3125B

デジタル高圧メガの新スタンダード

最大測定値：1000GΩ

測定レンジ：250V-5000V



- 5レンジ定格測定電圧 (250/500/1000/2500/5000V)
- 成極指数 (PI) と誘電吸収比 (DAR) を自動計算表示
- G端子接地方式による絶縁抵抗測定が可能
- 出力電圧・オートディスチャージ電圧をモニター表示
- 大型ディスプレイ (バーグラフとバックライト付き)
- 国際安全規格 IEC 61010-1 CAT IV 300V
CAT III 600V 準拠

● 製品の詳しい仕様・価格等はこちらからご確認ください



大きいボトル頭も挟める
ワングチクリップが標準付属

共立電気計器株式会社
www.kew-ltd.co.jp

● KEW 3125B 仕様

| 定格測定電圧 | 250V | 500V | 1000V | 2500V | 5000V |
|------------------|---|---------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 測定範囲 (オートレンジ) | 0.0~100.0MΩ | 0.0~99.9MΩ 80~1000MΩ | 0.0~99.9MΩ 80~999MΩ 0.80~2.00GΩ | 0.0~99.9MΩ 80~999MΩ 0.80~9.99GΩ 8.0~100.0GΩ | 0.0~99.9MΩ 80~999MΩ 0.80~9.99GΩ 8.0~99.9GΩ 80~1000GΩ |
| 精度 | ±5%rdg±3dgt | | | | ±5%rdg±3dgt ±20%(100GΩ以上) |
| 短絡電流 | 1.5mA | | | | |
| 定格測定電流 | 0.25MΩ負荷にて 0.7mA以上0.9mA以下 | 0.5MΩ負荷にて 0.8mA以上1mA以下 | 1MΩ負荷にて 1mA以上1.2mA以下 | 2.5MΩ負荷にて 1mA以上1.2mA以下 | 5MΩ負荷にて 1mA以上1.2mA以下 |
| 開放回路電圧 | DC 250V -10~+10% | DC 500V -10~+20% | DC 1000V 0~+20% | DC 2500V 0~+20% | DC 5000V 0~+20% |
| 電圧測定範囲 | AC:30~600V (50/60Hz) DC:±30~±600V | | | | |
| 電圧測定精度 | ±2%rdg±3dgt | | | | |
| 放電時間 | 約10秒/μF (放電抵抗 2MΩ) | | | | |
| 適合規格 | IEC 61010-1 CAT IV 300V / CAT III 600V 汚染度2 | | | | |
| 使用電池 | 単2形アルカリ乾電池LR14(1.5V)×8 | | | | |
| 外形寸法/質量 | 177(L)×226(W)×100(D) mm/約1.9kg(乾電池含む) | | | | |
| 本体付属品 | 7165A(ラインプローブ)、7264(アースコード)、7265(ガードコード) 8019(先端金具・フック)、9205(ハードケース) 単2形アルカリ乾電池×8、取扱説明書 | | | | |
| 別売オプション | 7168A(ワニグチタイプラインプローブ) 7253(ワニグチタイプラインプローブ)、8302(記録計用アダプタ) | | | | |

● G端子接地方式とは

Rc: ケーブルの絶縁抵抗
Rs: シースの絶縁抵抗
Rn: がいし、高圧機器等の大地間の絶縁抵抗
Ro: 測定器(3125B)の内部抵抗(40kΩ)
Io = Ic - Is
$$I_o = \frac{R_s}{R_s + R_o} \times I_c = \frac{1}{1 + \frac{R_o}{R_s}} \times I_c$$

Rs >> Ro であれば Io ≈ Ic となる

[注] E端子接地方式では、P-N間を短絡し、かつ、G-N間を開放する。

G端子接地方式とは、VCT等の高圧機器を外すことなく一括で高圧ケーブル単体の絶縁抵抗を測定できる測定方式です。上に記載した式により高圧ケーブル絶縁体の抵抗を求めることが出来ます。3125BはG端子接地方式に対応しています。本測定器の内部抵抗(Ro)は40kΩとなっているため、シース抵抗が1MΩ以上あれば、精度への影響は4%以下となります。
※社団法人日本電気協会著作権物利用承諾第3-8

● 各種絶縁診断機能

成極指数(PI) : Polarization Index
絶縁体の漏れ電流の時間的増加の有無を調べる試験です。成極指数は、絶縁体の形状、大きさに無関係な量で吸湿により変化するので、ケーブルの絶縁診断をおこなう上で重要な意味を持っています。

成極指数 = $\frac{\text{測定10分後の絶縁抵抗値}}{\text{測定1分後の絶縁抵抗値}}$

成極指数による判定は以下のとおりです。

| 成極指数 | 1.0以上 | 1.0~0.5 | 0.5以下 |
|------|-------|---------|-------|
| 判定 | 良 | 要注意 | 危険な状態 |

誘電吸収比(DAR) : Dielectric Absorption Ratio
誘電吸収比(DAR)は、絶縁の時間経過試験という意味では成極指数(PI)と同じ方法です。唯一の違いは、結果を得るための時間が短くなっています。

誘電吸収比 = $\frac{\text{測定1分後の絶縁抵抗値}}{\text{測定15秒もしくは30秒後の絶縁抵抗値}}$

誘電吸収比による判定は以下のとおりです。

| 誘電吸収比 | 1.4以上 | 1.25~1.0 | 1.0以下 |
|-------|-------|----------|-------|
| 判定 | 最良 | 良 | 不可 |

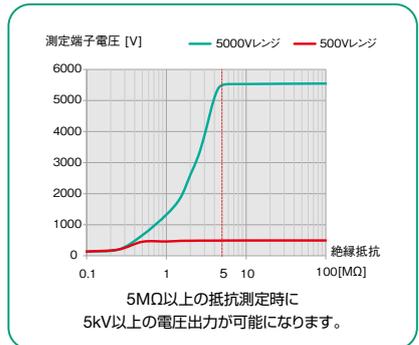
● 本体付属品



● 別売オプション



● KEW 3125Bの出力特性



安全にお使いいただくために ご使用の前に、商品に添付されている取扱説明書の「使用上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ お問い合わせ、ご用命は下記へ



共立電気計器株式会社

www.kew-ltd.co.jp

- 東京オフィス 〒152-0031 東京都目黒区中根 2-5-20
TEL.03(3723)7021 FAX.03(3723)0139
- 大阪オフィス 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-16-3 高橋ビル
TEL.06(6337)8648 FAX.06(6337)8590
- 名古屋オフィス 〒461-0004 名古屋市東区葵 1-12-1 オフィス布池
TEL.052(939)2861 FAX.052(939)2862
- 四国オフィス 〒790-0964 愛媛県松山市中村 1-3-28
TEL.089(998)4190 FAX.089(998)4191
- 九州オフィス 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-4-25 アクロスキューブ博多駅前
TEL.092(419)7162 FAX.092(472)3750

製品の使用に関するお問い合わせ

お客様相談室 0120(62)1172 (9:00~12:00,13:00~17:00 土・日・祝日を除く)